

2025年度スタート ～グランドデザインをもとに～

令和7年度の小・中学校の生活がスタートしました。今年度も全校でコミュニティ・スクールを展開していきます。その様子を、この「つ・な・ぐ 2025」で保護者や地域の皆様にお伝えしていきます。引き続きよろしくお願いいたします。

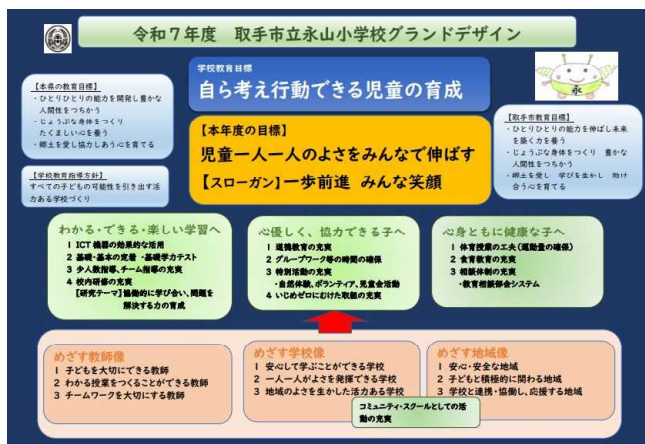
早い学校では、4月22日から、第1回学校運営協議会が開催されています。多くの学校はこの5月に実施される予定です。

この第1回学校運営協議会では、改めて各学校運営協議会の委員への任命書の受け渡し、また、今年度の諸計画の確認などが行われます。そしてメインとなるのは、昨年度、各学校運営協議会で話し合い、全委員さん方から【承認】をいただいた、学校の【基本方針】の確認です。学校の教育目標や「目指す児童生徒像」、目標達成のための重点項目などの【基本方針】を含み、今年度1年間の学校教育の方向性を示したのが、【グランドデザイン】と呼ぶものです。

この【グランドデザイン】は、かつては学校長が自分の教育理念をもとに、それまでの学校教育の実績や課題、児童生徒や地域の特性、そして学校に求められている新たな取組などを総合的にまとめ、教頭先生や他の先生方との相談・協議を経て作成していたものです。しかし、コミュニティ・スクールが導入されると、この【グランドデザイン】の中核を成す【基本方針】は、学校長が作成した原案を学校運営協議会で話し合い、他の委員さんが【承認】しないと完成されないことになりました。取手市でも、昨年度全ての学校でこの【基本方針】に関する協議がなされ、リニューアルされた【グランドデザイン】が出来上がっていききました。第1回目の協議会では、この【グランドデザイン】をもとに、校長から1年間の取組について説明がされます。特徴的な【グランドデザイン】のいくつかを以下、ご紹介します（詳しくは各学校のHPで）。



<桜が丘小学校>



<永山小学校>



<宮和田小学校>



<藤代南中学校>

学校と地域がいっしょになって児童生徒の成長のために取り組む「地域学校協働活動」。コミュニティ・スクール2年目以降の学校・学区にとって、この取組をどのように推進するか、どうスタートさせるかという点は、重要な課題であり、学校運営協議会における中心的な論点となってきました。ここでは、今年度「地域学校協働活動」を展開しているいくつかの学校の取組を紹介します！

5年生田植え体験

今年で6年目となる、久賀小学校にお住まいの元校長先生のおかげで、保護者のボランティアの方も参加し、



久賀小学校

の5年生たちによる「田植え体験」。地域今年も無事に実施できました。今年度は子供たちと稲を植えてくださいました。



子どもフェス協力

5月25日に行われる、戸頭町会が学校生徒会の2・3年生たちが、フ協力しました。当日も2年生の有志



戸頭中学生徒会

主催の「子どもフェスティバル」。戸頭中エスティバルで行う催し物の企画立案にが運営のお手伝いに行く予定です。



見守りスタート

昨年度から、児童の登下校の見守りを地域にお願いしたいと、話し合いをしてきた桜が丘小学校。募集に応じて協力を申し出てくださった保護者と地域住民の方による見守りがスタートしました。「ありがとうございます！」という、子どもたちの感謝の言葉も聞こえてきました。



桜が丘小学校